

科目コード: 1100

科目名 幼保1年 専門科目

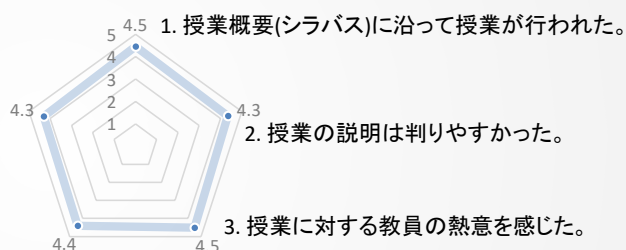
回答者数: 626 名

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	329	258	37	0	2	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	319	224	65	13	5	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	375	202	40	7	2	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	326	231	60	5	4	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	304	225	85	10	2	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが 4.
あった。



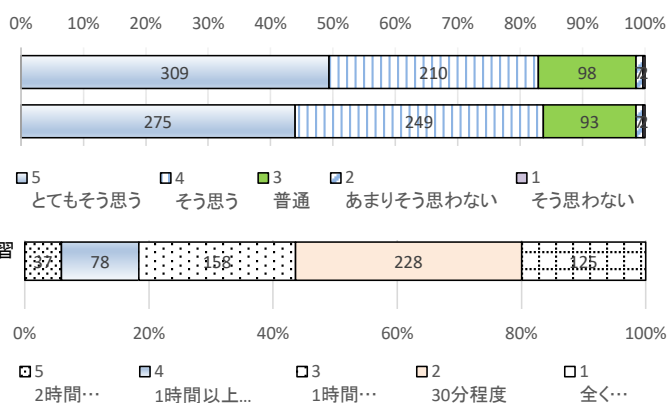
設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	309	210	98	7	2	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	275	249	93	7	2	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	37	78	158	228	125	2.5

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

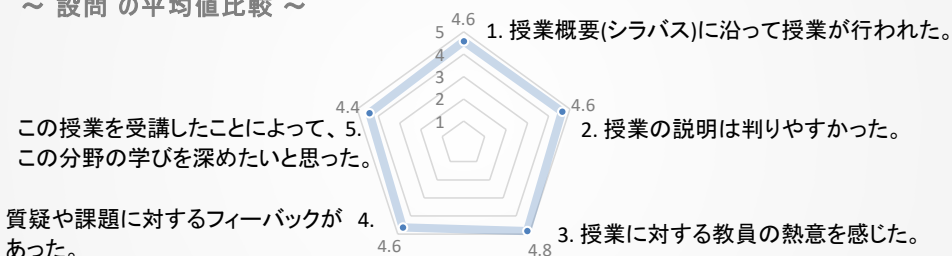
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。



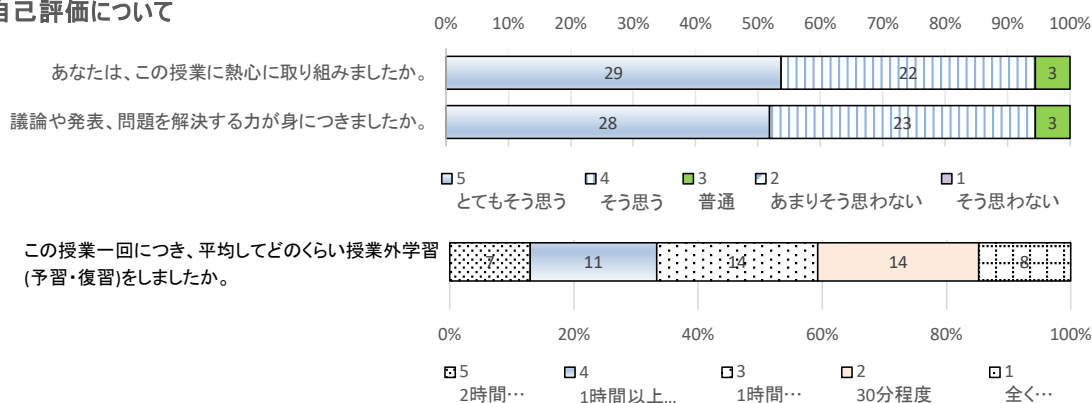
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	31	23	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	35	18	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	45	9	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	34	20	0	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	26	25	3	0	0	4.4
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	29	22	3	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	28	23	3	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	7	11	14	14	8	2.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

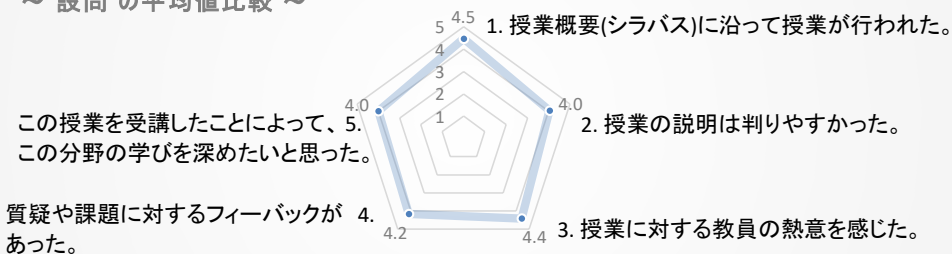
・保育、幼児教育を取り巻く今日的な問題に目を向けさせることを目的として、毎時間のはじめに新聞記事を読む時間をとっている。新聞を取っていない家庭も増える中、身近なところにあるさまざまな問題に対して、意識を高めることができたのではないだろうか。新聞記事を読んだ感想を、チームズのチャット機能を使って提示させた。文字数の条件を課したため、学生にとってはかなり負担の大きな「時間外学習」になったはずで、時間外学習を全くしていないという8名は、このレポートを時間外学習とは認識していないのではないだろうか。最低でも30分以上の時間をかけなければ書き上げることのできないレポートであったはずである。

②課題と展望(授業改善方策)

・101教室における、2クラス合同の授業ではあったが、可能な限りグループワークや、発表の場を多く取り入れた授業展開に心がけた。新聞記事レポートも含めて、「大変さ」が「達成感」や「充実感」に繋がるような評価をさらに工夫する必要がある。

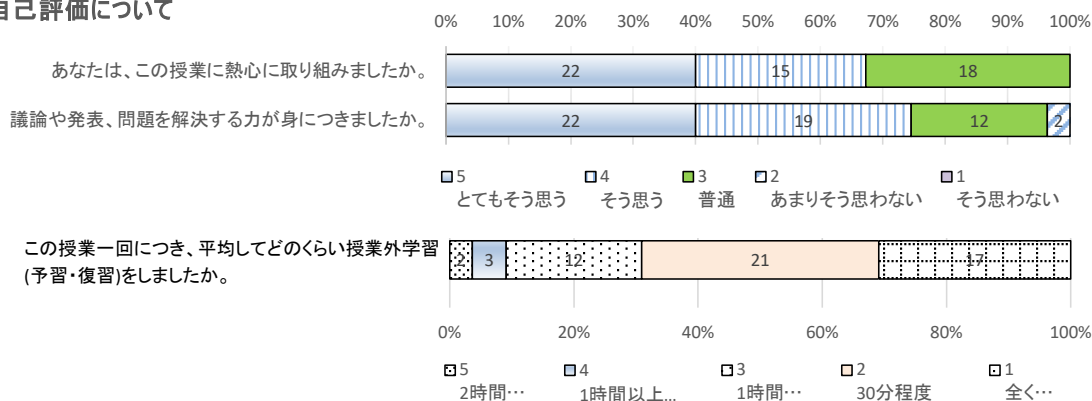
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	28	25	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	20	20	12	3	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	29	21	4	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	22	22	10	0	1	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	19	19	15	2	0	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	15	18	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	22	19	12	2	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	12	21	17	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

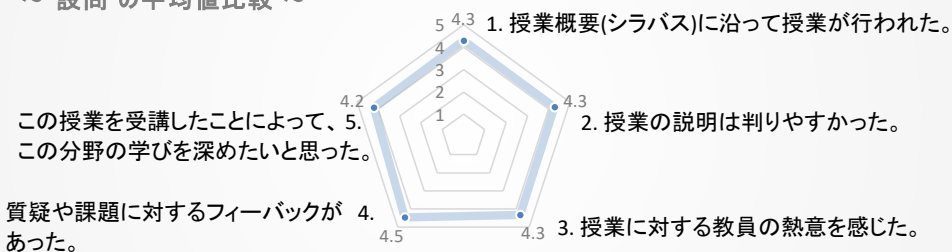
57名の学生が大教室で受講したが、比較的真面目に取り組んでいた。テキストに沿って、章ごとに配布したワークシートに大事な点をメモさせながら、パワーポイントを使って授業を行った。動画、資料等を豊富に用い、何をメモするかは、学生の感覚に任せたが、驚くほど詳細にまとめる学生もいる一方、ほとんど空欄の学生もいる。毎回の大事なポイントや流れだけは把握して欲しいと思い、熱を入れて講義したつもりであるが、何も考えず単にパワポの内容を写すだけの者も多い。内容を咀嚼して欲しいと思っている。人数も多く、周囲の者との協議などは難しい状況がある。プロジェクタ画面の見にくい席もあり、学生には迷惑をかけた。

②課題と展望(授業改善方策)

パワポの内容を写す必要がないよう、プリントに大事な点を予め書いておくと、安心してメモすら取らない学生がいる。穴埋め方式などでは、その前後しか注目しない。どうやったら、内容を咀嚼しつつ授業に取り組むかは、今後の課題である。話し合い等の活動は、深まりが薄く、どうしたら、深い学びにつながるか今後の課題である。考査では、記述問題を具体的に数問予告し、自分の考えも含めて、十分に準備するよう伝えた。熱心に論述するもの、数行の文しか準備しない者があつたが、努力の成果がそのまま出るので、今後も継続したい。

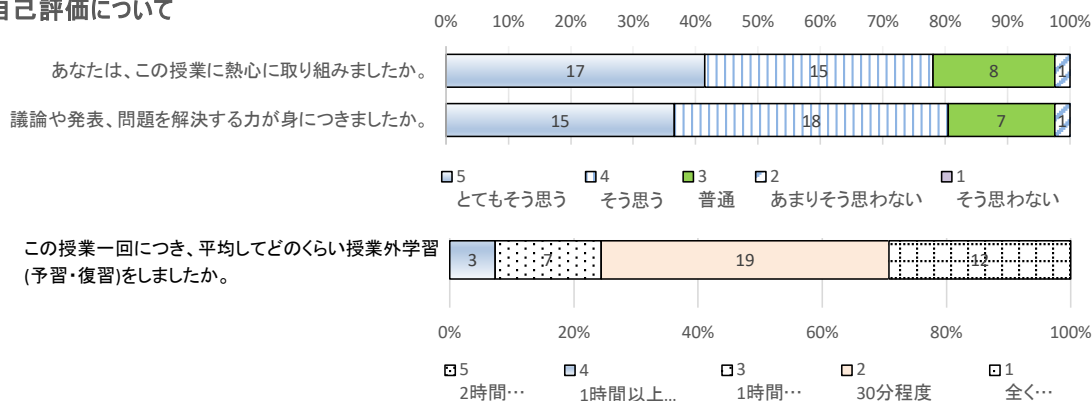
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	17	19	5	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	16	20	5	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	19	16	6	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	21	18	2	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	14	9	0	0	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	17	15	8	1	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	18	7	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	7	19	12	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

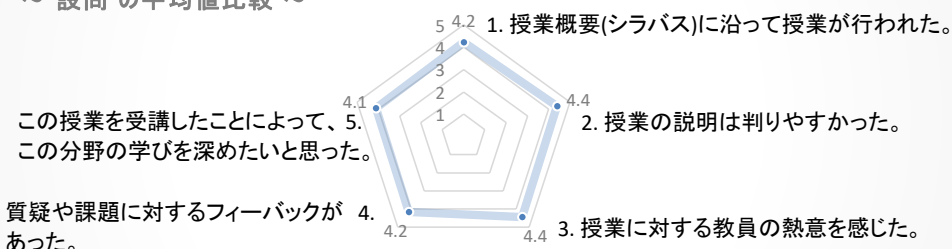
設問Ⅰに関しては、おおむね肯定的な評価が多く、教員としても授業準備や学生のコメントへのフィードバックに力を入れたことが伝わってよかったと感じている。設問Ⅱも全体としては肯定的な回答が多いが、(1)(2)については各1名が「あまりそう思わない」に回答しており、学生の意欲や主体的に学修にのぞむ態度を引き出す工夫が必要だと感じる。また(3)についても、授業時間外学習を「全くしていない」が12名となっており、改善の余地がある。

②課題と展望(授業改善方策)

設問Ⅱの(1)～(3)に関して、授業内のグループワークだけでなく、予習の段階で成果物の作成・提出を求めたり、個々の課題に対する評価(得点)を数値的に示すなど、よりわかりやすい指標をつくることで学生の意欲を高めつつ、授業時間外学習の時間の確保に努めたい。

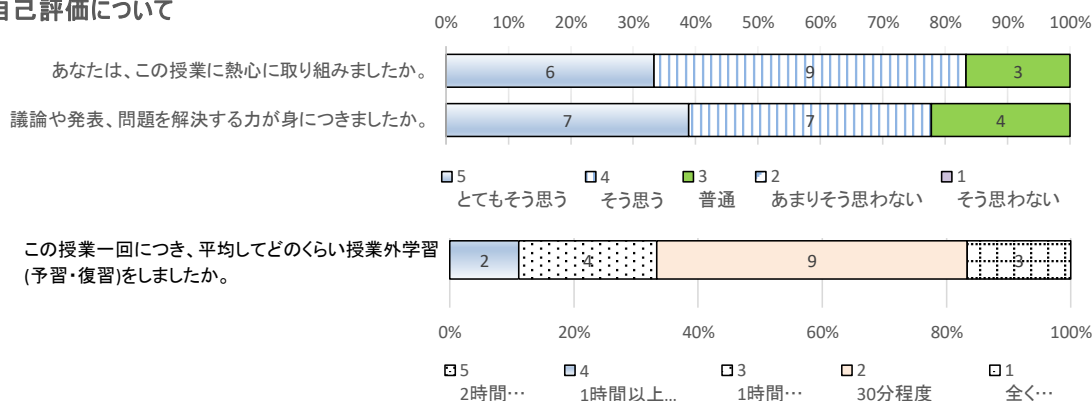
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	8	3	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	9	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	8	1	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	10	1	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	8	4	0	0	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	9	3	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	7	4	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	4	9	3	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

昨年度の授業内容をブラッシュアップし、キーワードを絞りこんで授業を進めた結果、やや理解度は増している。授業の中で実務家教員として、社会福祉の仕事の現場の魅力を伝えるために、具体的なエピソードやニュースのトピックスなどを交えて講義したことに対して、関心をもって聞いてくれた学生が多かった。授業外時間の学習時間については、やや増加しているが、努力すべき点である。

②課題と展望(授業改善方策)

一方的な講義だと居眠りする学生が多かったため、ディスカッションを交えてすすめた。授業外時間の課題については、自己評価シートへの記入を指示したが、短時間で終わらせている生徒も多かったようである。

教科書の内容からテーマを絞り込み、自身の考えを表現する力を引き出せるようなワークは効果的であった。

科目コード: 1104

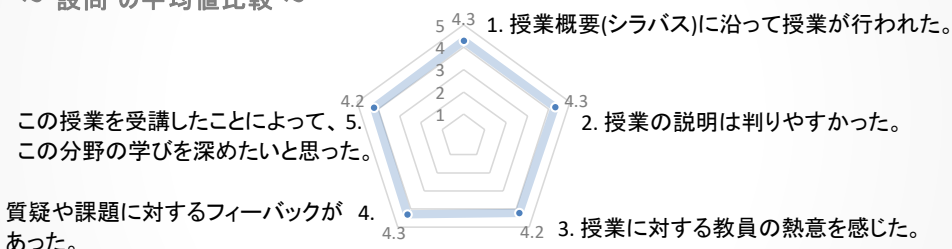
科目名 教育心理学

回答者数: 24 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義 担当者 高橋淳一郎

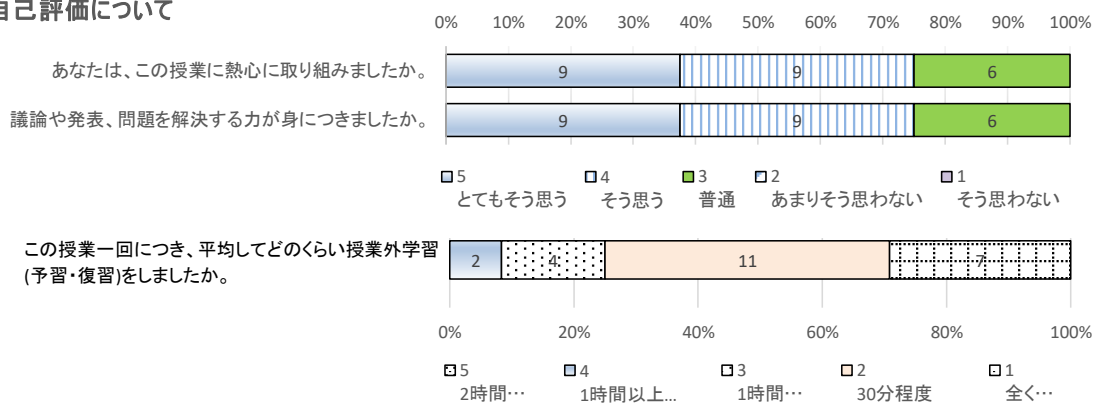
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	10	11	3	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	9	4	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	13	3	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	11	9	4	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	9	11	4	0	0	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	9	6	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	9	6	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	4	11	7	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

全体として熱心に授業に取り組んだ学生が多いことがわかった。この科目は保育においては実践を支える基本的な理論を扱っている。そのため、学生にとっては難しく感じる科目内容かもしれないが、できる限り現場とのつながりを事例を含めて説明をしていることが、学生の理解促進と意欲に繋がっているものと思われる。

②課題と展望(授業改善方策)

授業時間外学習の時間が少ない学生が多いのが課題である。2年生の演習科目では予習を促進する課題を出して協同学習を進めているが、本科目でも予習の観点から時間外学習を促進する方法を考えていきたい。

科目コード: 1105

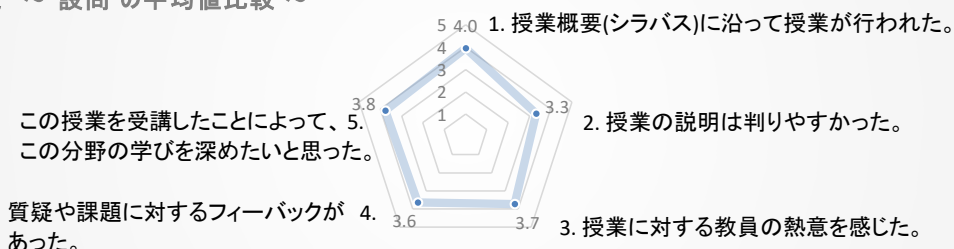
科目名 子どもの保健

回答者数: 22 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義 担当者 吉田幸子

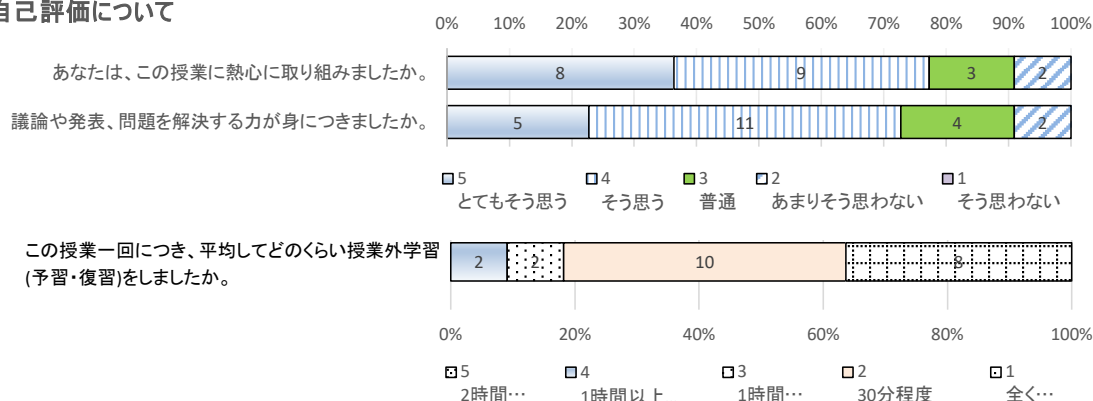
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	11	6	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	8	1	5	3	3.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	10	3	4	0	3.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	7	5	3	1	3.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	11	2	4	0	3.8
総平均							3.7

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	8	9	3	2	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	11	4	2	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	2	10	8	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
授業時間内だけでなく学習する習慣を身につけましょう。

②課題と展望(授業改善方策)
学生参加型を考慮したい。

科目コード: 1106

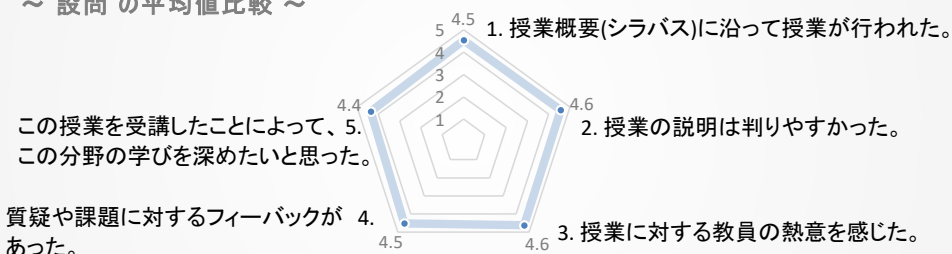
科目名 健康

回答者数: 55 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習 担当者 桐原由美

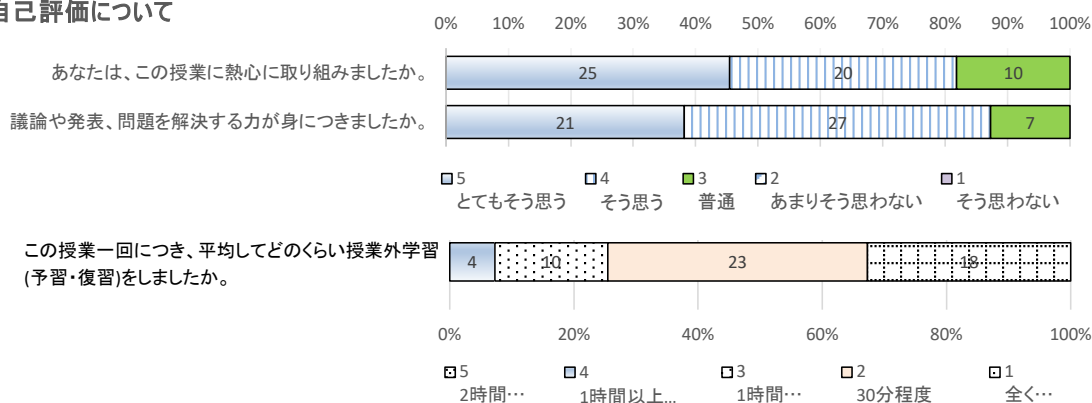
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	30	24	1	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	34	18	3	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	35	19	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	21	3	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	26	23	6	0	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	25	20	10	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	21	27	7	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	10	23	18	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

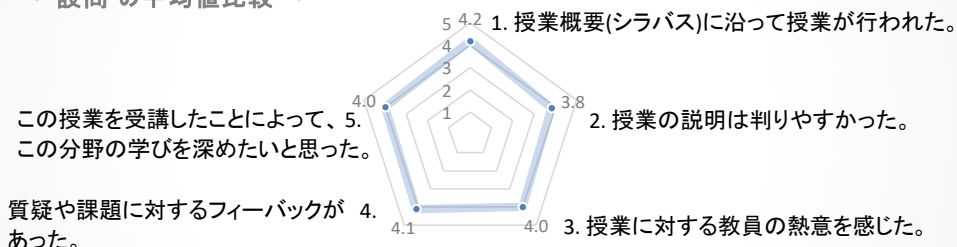
授業についての設問では、5項目とも90%以上の学生が「そう思う」と回答しており、うち「授業の説明は分かりやすかった」は約95%が「そう思う」と回答している。中間理解度把握調査において全回答者から「分かりやすい」との回答を得ているが、その後も変わることなく学生にとって分かりやすい授業が進められていたと考える。学習に対する自己評価の設問では、80%以上の学生が授業に熱心に取り組む、議論や発表、問題解決力が身についたと回答しており、「議論・発表、問題解決力」は、昨年度より身についたと回答している者が多い。授業外学習時間については、約60%が30分から1時間程度の予習復習を行っている」と回答していた。これらのことから、学生は、本授業を分かりやすいと感じ、熱心に取り組んでいることが窺えた。

②課題と展望(授業改善方策)

昨年度の課題として議論や発表、問題解決力の向上をあげ、今年度、授業方法の改善を行った。その結果、87%の学生から「そう思う」との回答が得られ昨年度の70%を上回った。本科目は、基本的な知識を理解し、それらを使って考えていくことが求められる。1年前期の専門科目であることから、知識の伝達が中心になるが、グループ活動や他者との意見交換の機会を増やした授業を行っていきたい。

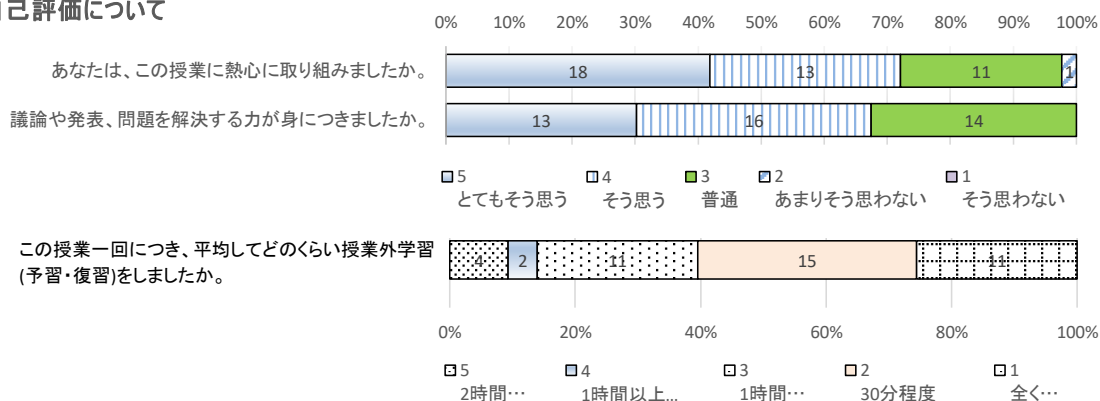
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	15	21	7	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	14	14	3	0	3.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	14	16	12	1	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	18	13	11	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	16	13	12	2	0	4.0
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	18	13	11	1	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	13	16	14	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。	4	2	11	15	11	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

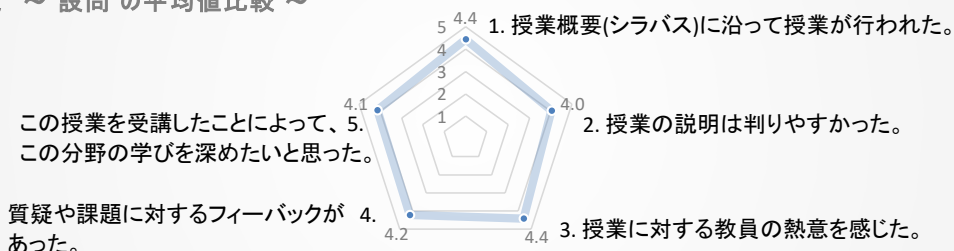
説明の面で毎年度より低得点になった。資料を作り替えたことで内容量が増えたため、このような結果になったと推察しています。

②課題と展望(授業改善方策)

資料を修正するとともに、講義内容についても見直す予定です。

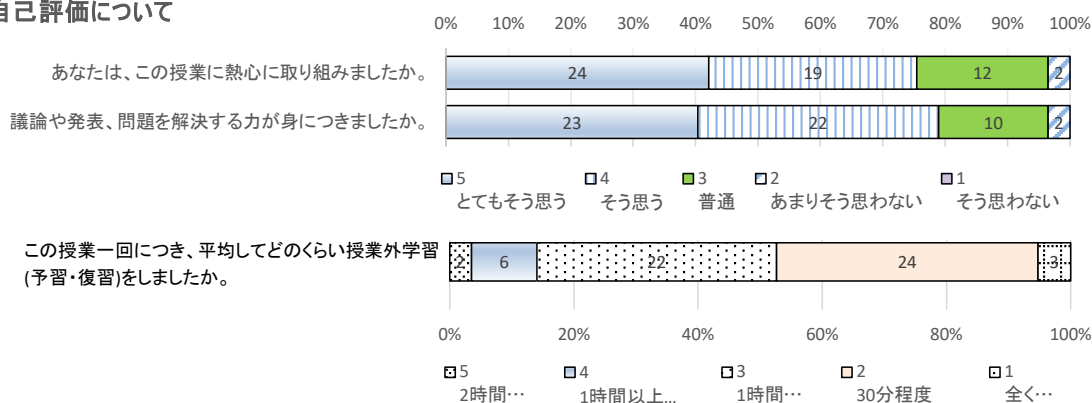
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	29	24	4	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	20	21	14	2	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	31	20	5	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	26	18	13	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	23	21	11	2	0	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	24	19	12	2	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	23	22	10	2	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	6	22	24	3	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

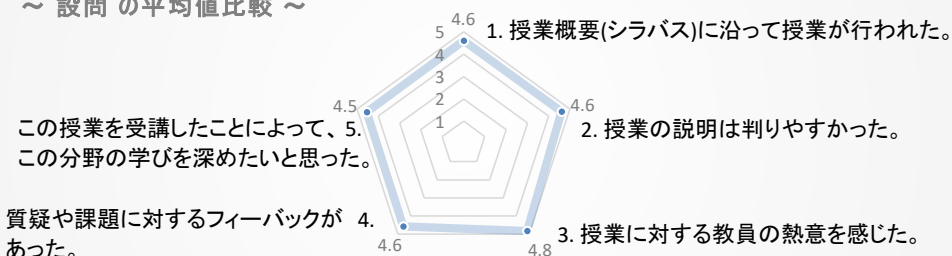
設問(2)授業の説明がわかりやすかったが昨年に比べ0.3ポイント下がっています。今年度は、ある学生からの申し出で私が要点をまとめるのではなく、授業の要点を自分たちでまとめることにしました。レベルがあがりましたが、すばらしい提案です。一方で、皆さんの自分でとりまとめたことの不安を払拭するため次の授業開始の最初の部分で前回の要点(重要事項)を確認する時間をしっかりとります。別の学生の感想に「子どもに教えるには、まず自分たちが活動を通して親しむことが大切だと思いました。」という感想をいただきました。また、「他の班の活動に参加したり、活動を計画していく中で、授業を受けているだけではわからない気付きや視点を学ぶことができ勉強になった」という感想もいただきました。皆さんが学びを深められるよう、さらなる授業改善を図ります。主体的に学ぶことを大事にしていきたいです。

②課題と展望(授業改善方策)

領域「環境」の学修で、何を学ぶのか、学習後に自分のなかで何がどのように変わったのか、各テーマの要点は何だったのか、何が身についたのかといった振り返りをしっかりとしていきます。本学修では、学習履歴表を使って、学修前後の自身の成長について確認すること、絶えずこの学びでの一番大切なことは何かを学修の前後で振り返ることを行っています。外化・可視化・内化・内省・メタ認知的な活動を今後も授業の中で取り組んでいきます。加えて、領域「環境」の学びを深めたいと思える主体的な学びを進めていきます。

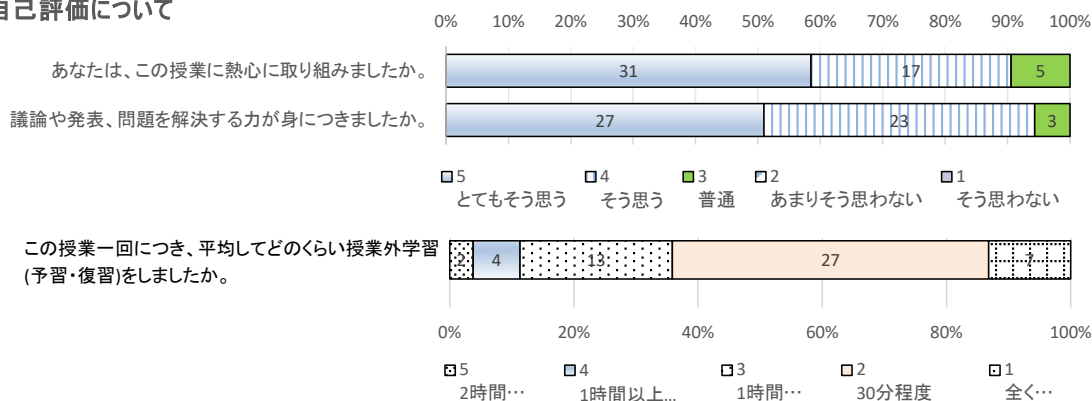
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	32	21	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	34	17	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	45	7	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	18	2	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	34	14	5	0	0	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	31	17	5	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	27	23	3	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	4	13	27	7	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

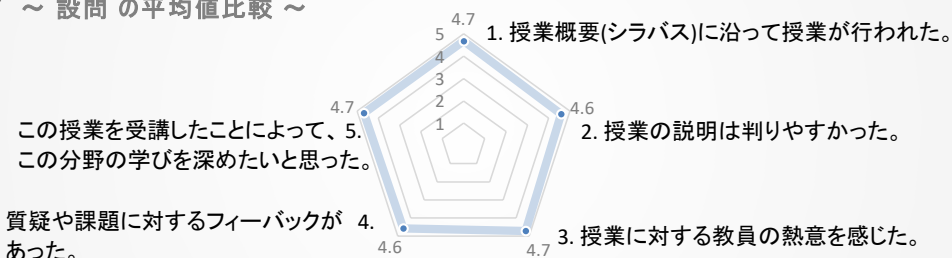
・「5領域」の一つとして、保育、幼児教育の根幹をなす科目であるが、その分基本的事柄の修得、定着が中心となる。可能な限りグループワークなどを取り入れるよう授業展開を工夫しては見たが、学生自身の問題意識を掘り下げるところまではまだ届いていないと感じる。幼い子どもの言葉の実態に関する資料開発などにさらに力を入れたい。

②課題と展望(授業改善方策)

・授業時間外学習の少なさが大きな課題である。単にワークシート形式の学習課題だけではなく、自分自身の幼いときの状況について、家族から情報を集めて、次の授業で互いに報告し合うための材料を準備するなど、授業時間外に取り組まなければならない必然性のある課題の提示について工夫したい。

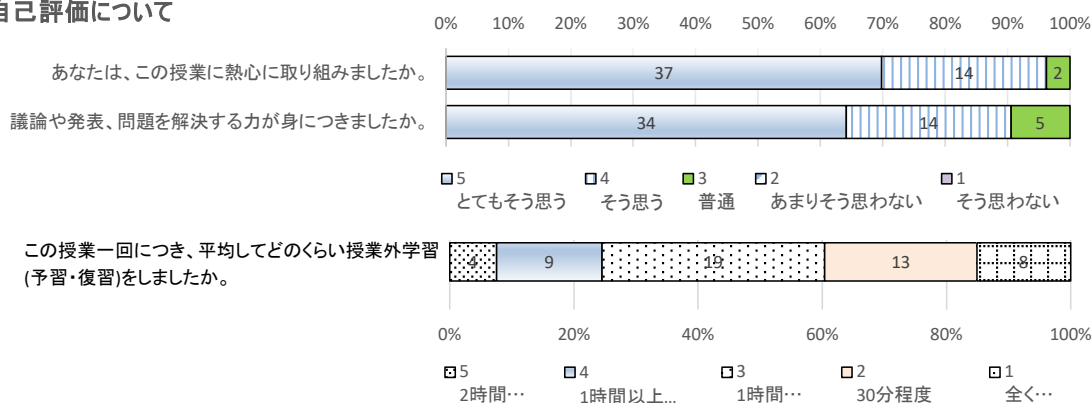
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	36	17	0	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	33	18	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	39	13	1	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	18	2	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	39	11	3	0	0	4.7
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	37	14	2	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	34	14	5	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	9	19	13	8	2.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

本科目では、「音楽」「造形」「身体」の各表現の学びを通じて、①「保育現場における表現活動の具体的な実践方法や保育者の配慮事項を理解し、実践できる。」、②「本科目の学習内容を踏まえ、「音楽表現領域指導法」「造形表現領域指導法」「身体表現領域指導法」の専門技能と保育実践力に関する基礎的な知識について説明できる。」ことを授業の到達目標とした。アンケート結果をみると、「授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた」「授業に対する教員の熱意を感じた」「この授業を受講することによって、この分野の学びを深めたいと感じた」という項目が4.7と最も高い評価を得たことから、概ね良い評価であったと認識している。自由記述では、「色んな分野をやってとても楽しい授業でした。」「この講義を学習をして、表現の仕方は様々あり、その人の工夫によって変わると改めて思いました。クラスや自分の発表を得て、様々な工夫の仕方などを学べたと思います。」「表現における、身体・造形・音楽を実践的に学ぶことで、より現場での意識を持って取り組むことが出来た。」という意見があった。

②課題と展望(授業改善方策)

本科目では、授業内で「音楽」「造形」「身体表現」の実技テストを行う。入学して間もない学生にとって、これらの実技テストは緊張するだろうが、学生はこれらの実技試験に取り組む事により、自分や他学生のパフォーマンスについて実践的に学ぶことができる。保育現場では必ず子どもたちの前に立つ場面がある。1年生の前期から、人前に立つ経験を得ることによって、実習に対する意識も高められる。今後も実践的な授業を目指して、授業改善に努めたい。

科目コード: 1111

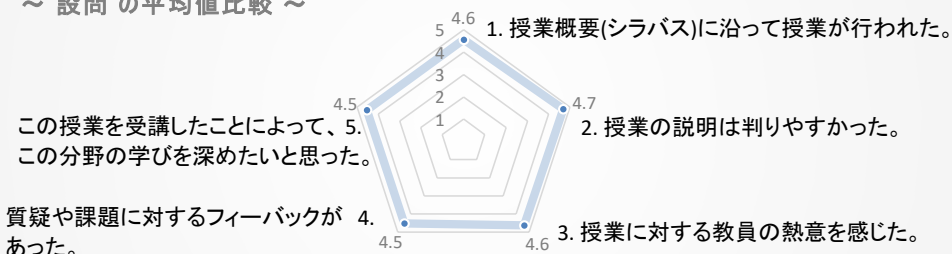
科目名 乳児保育Ⅰ

回答者数: 48 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義 担当者 小澤美鈴

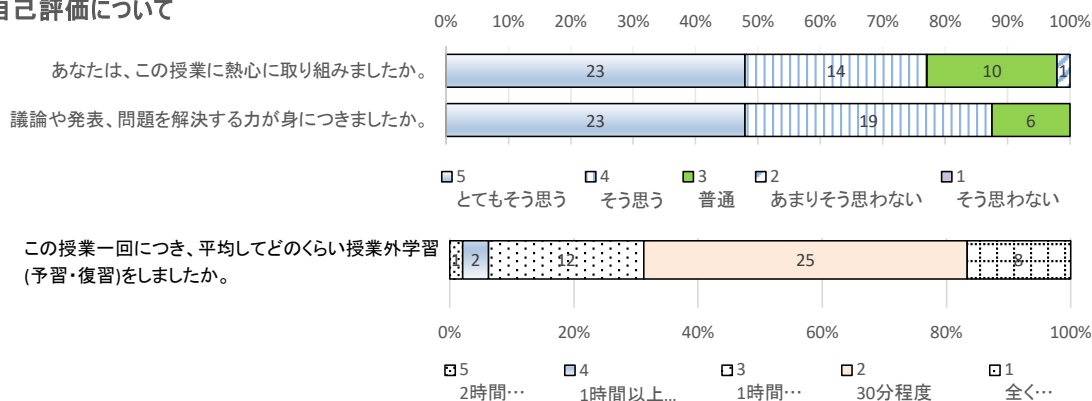
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	29	17	2	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	34	13	1	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	31	16	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	27	19	2	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	29	16	3	0	0	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	14	10	1	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	23	19	6	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	12	25	8	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

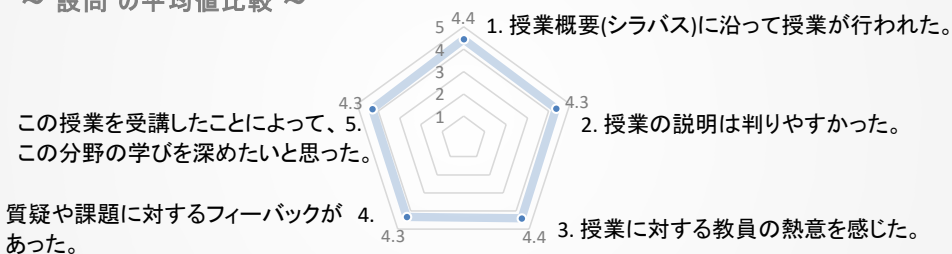
昨年に引き続き、授業内でのグループワークや発表の時間を設け、他者の意見を聞き、自身の考察につながるよう心掛けた。また、社会の様々な問題を知り、課題やグループワークを通して考察することで、より授業の内容が実践に繋がり、保育観が深まるような学びに繋がっていった。

②課題と展望(授業改善方策)

授業時間外学習について、低い傾向にある。昨年以上に、振り返り課題、中間課題や手遊び、絵本の読み聞かせの実践課題等を通して、自己学習が深められるよう、努めて参りたい。また、授業内容の復習の機会を設け、内容がより身に付き、後期の乳児保育Ⅱの学習意欲向上にもつながるよう、強化して参りたい。

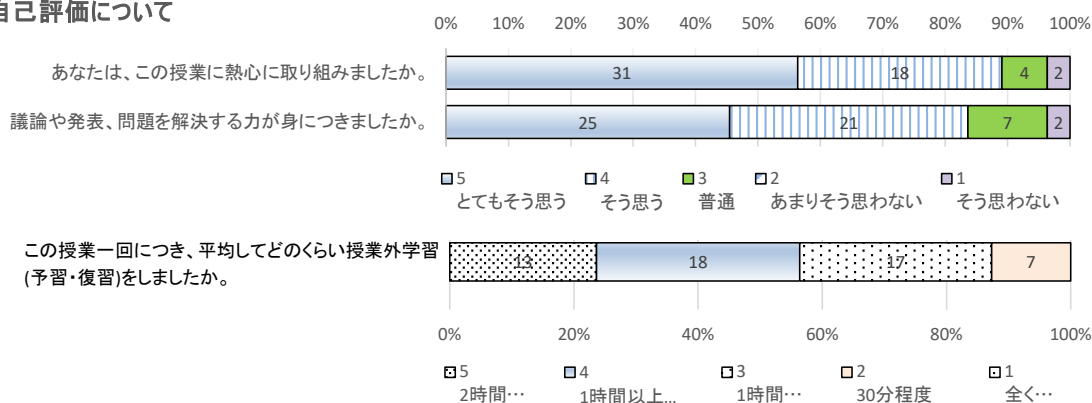
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	32	19	2	0	2	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	27	24	2	0	2	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	30	21	2	0	2	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	27	23	3	0	2	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	26	23	4	0	2	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	31	18	4	0	2	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	25	21	7	0	2	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	13	18	17	7	0	3.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

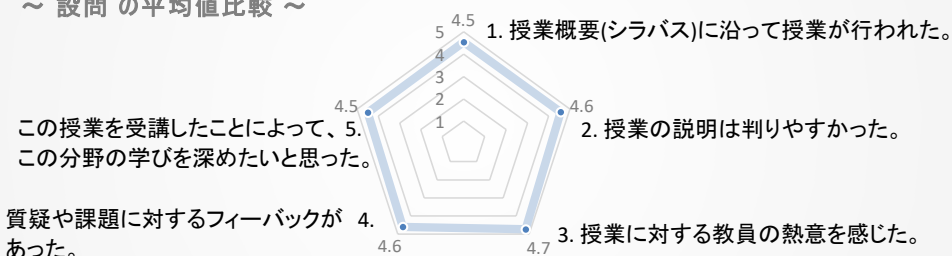
設問 I の5つの項目について、総平均は5ポイント中4.4ポイントであった。令和5年度の総平均は4.2ポイントであったことから、授業内容について改善されたと考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

設問 II (3)について、「全くしていない」は0名であった。令和5年度と比較し、「全くしていない」と回答した学生は減少傾向にある。しかし、再試験を受験する学生数は増加傾向にある。授業時間外での取り組み(練習)の成果を高めるために、具体的な練習方法や時間の確保等、学生への指導内容の検討が必要だと考える。

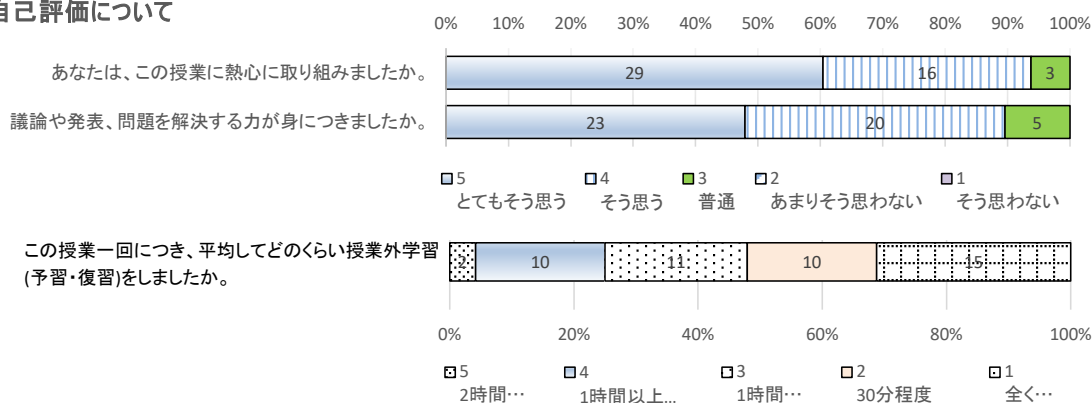
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	28	18	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	30	15	3	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	35	13	0	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	15	2	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	28	16	4	0	0	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	29	16	3	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	23	20	5	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	10	11	10	15	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

おおむね予想通りの結果であった。設問 I の(1)シラバスにそって授業が行われたかについては、入職前にシラバスを作成した段階では五峯祭のポスターを本科目において作成するということを知らなかったためシラバスに反映していなかったことから、授業が始まってから3回分の調整が必要となったことが影響していると考えられる。(4)疑問や課題に対するフィードバックについては、毎回授業の冒頭で前回学生が提出した振り返りの一部を紹介して、学びにつながる点についてフィードバックを行っていたが、アンケート結果から考えると、もっと疑問や質問を「疑問・質問」として受け付けて答える、という形を取り入れる必要があると考えた。

設問 II の(2)「議論や発表、問題を解決する力が身に付いたか」については、どちらかという科目のねらいとして、造形表現の学びほぐしがテーマにあったので、まずはじっくり自分で取り組んでみるということを重視していた点が、普通5人という結果に影響していると思われる。(3)授業時間外学習については、最終課題として活動のドキュメンテーション記録を提出してもらおうと、科目の設定としてはそれが復習にあたるのだが、最終提出までチェックを行わないため、最後にまとめて取り組む学生が多く、その点で授業時間外学習としてカウントされなかった要因だと考える。

②課題と展望(授業改善方策)

学生の自己評価の結果に注目して、議論・発表等の場を授業に多く取り入れること、授業外の学習についてこちらのねらいを十分に説明して、意識付けを行いながら進めていきたい。

科目コード: 1200

科目名 幼保2年 専門科目

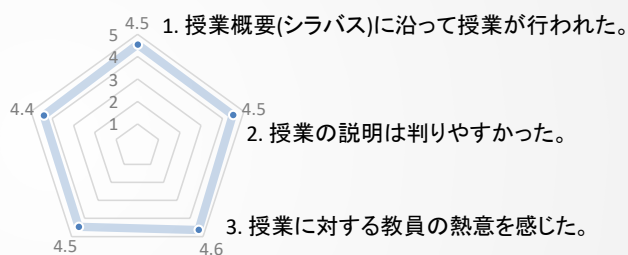
回答者数: 352 名

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	230	90	29	0	3	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	220	90	36	3	3	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	256	68	25	1	2	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	214	95	38	1	4	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	195	111	42	2	2	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが 4.
あった。



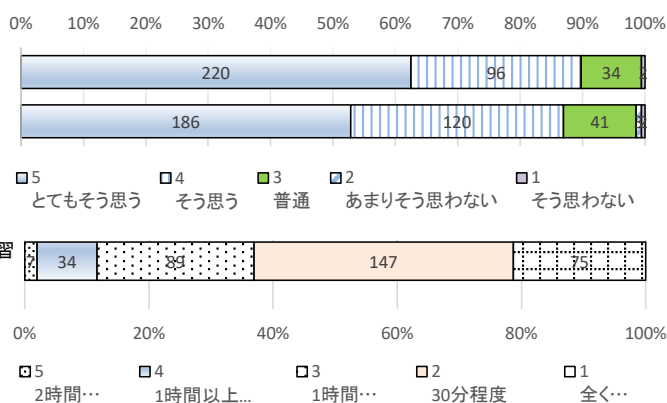
設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	220	96	34	0	2	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	186	120	41	3	2	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	7	34	89	147	75	2.3

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

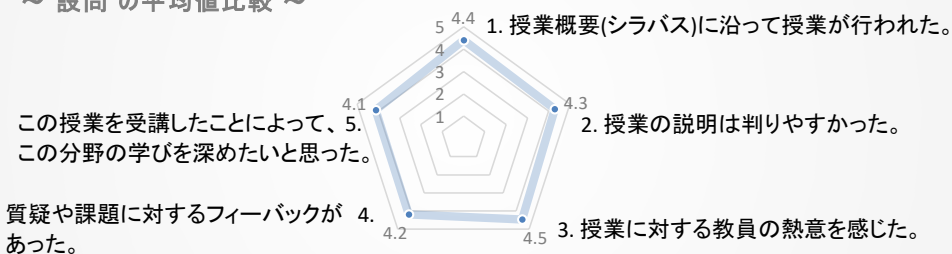
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。



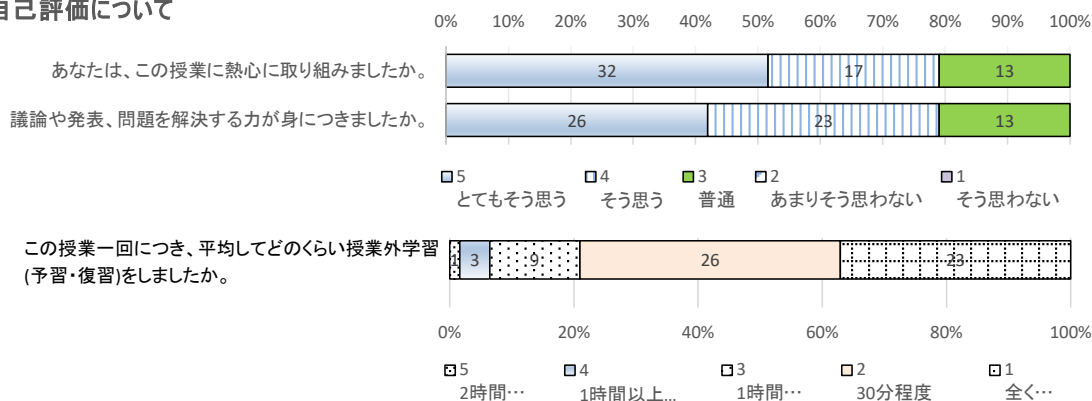
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	35	17	10	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	32	17	12	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	39	13	10	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	27	20	14	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	25	21	15	1	0	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	32	17	13	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	26	23	13	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	9	26	23	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問Ⅰ(1)～(5)について、平均4.3であった。全体と比較すると、特に、(4)の質疑、課題に対するフィードバックが低かった。また、授業外学習が低かったので、宿題を検討したい。

②課題と展望(授業改善方策)

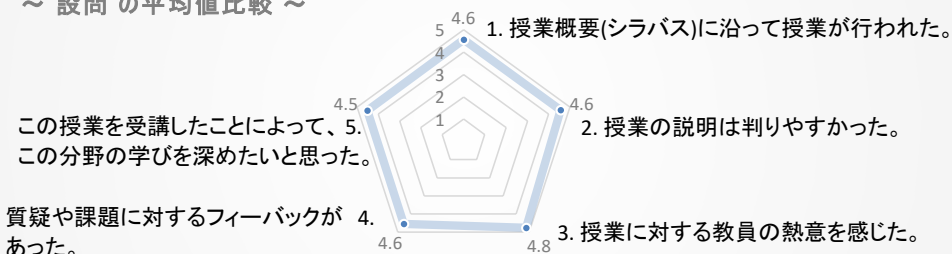
今後、特に、フィードバックをこまめに行うようにすることが課題になった。

フィードバック方法について、検討したい。

また、非常勤の為、学生と接する機会が少ないので、学生との交流を心がけたい。

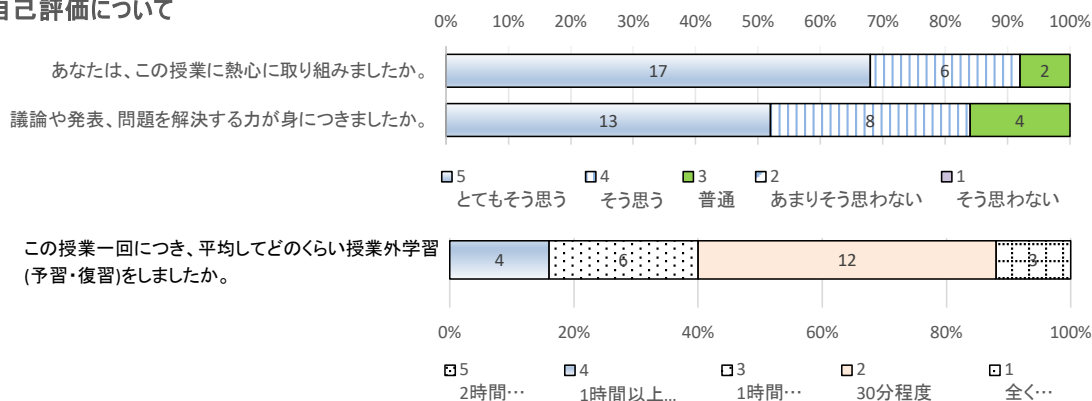
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	16	7	2	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	18	4	2	1	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	20	4	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	15	9	1	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	8	2	0	0	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	17	6	2	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	13	8	4	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	6	12	3	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問 I (2) の「授業の説明はわかりやすかったか」で「普通」「あまりそう思わない」が3名居た。大事な箇所は繰り返し復習(教科書のページに付箋をつけるよう指示し、何度もそのページを開けさせることで知識の定着を図ったり、ホワイトボードを活用し図を描き基本的用語を覚えるよう努めた)するようにした。しかし、定期試験の解答も含めて考察したところ、最後まで理解していない学生が居たことを知り今後の課題としたい。

設問 I (4) の「フィードバックがあったか」については毎回提出必須のリアクションペーパーを活用して質問の解答等を行っていることが高評価に繋がっていると思われる。

②課題と展望(授業改善方策)

理解度を図るためには毎回の授業時のチェックが必要である。また、理解度に差があるため、ある程度の個別対応も必要である。今後は定期的に理解の程度をはかり、個別の課題を提示する必要があると思われる。

この科目は講義中心の授業ではあるが、講師からの一方的なものではなく、学生が自ら課題をまとめて考察できる機会を授業内で設けていきたい。

科目コード: 1203

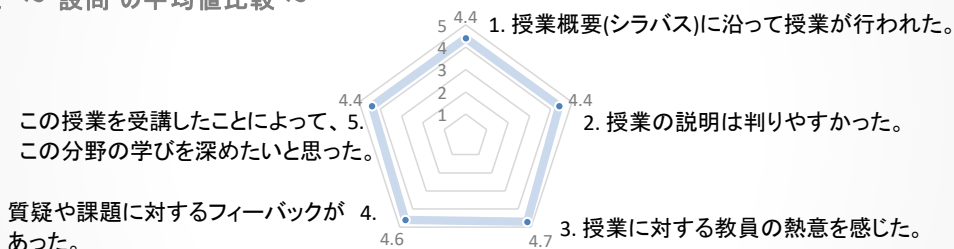
科目名 子ども理解

回答者数: 10 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 高橋淳一郎

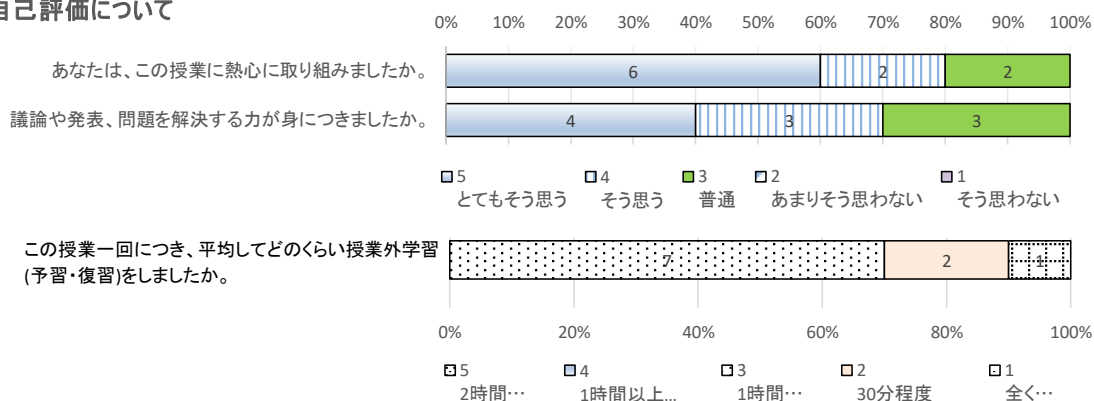
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	6	0	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	4	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	7	3	0	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	4	0	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	2	2	0	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	2	2	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	3	3	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	7	2	1	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

全体的に学生は関心を持って熱心に授業に向き合ってくれたようである。協同学習を導入し、自分が予習として調べたことが自分以外の学生の学びにも役立つ体験が学生の学習動機づけを高めているものと思われる。

②課題と展望(授業改善方策)

予習を前提とした授業としているにも関わらず授業時間外学習が短いまたは全くしていないという回答があった。全体的にも1時間未満の学習時間となっていることから、課題の出し方に改善が必要と考えられる。また、予習だけでなく復習をどのように促すかが課題である。この点については授業内小テストなどを導入することも検討したい。

科目コード: 1204

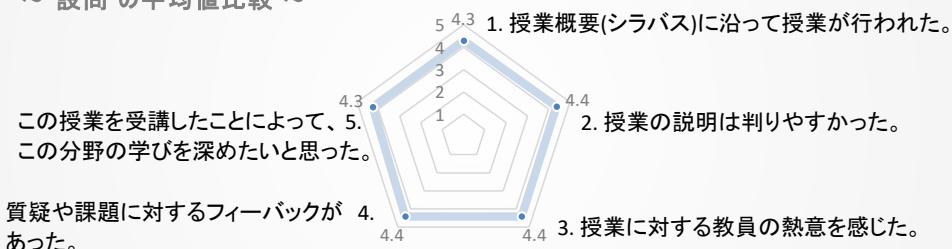
科目名 保育の計画と評価

回答者数: 41 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 講義 担当者 相田まり

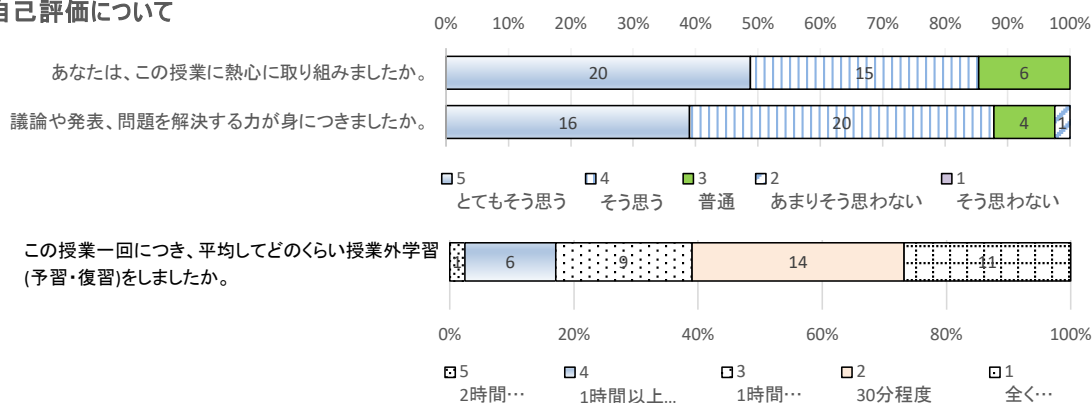
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	21	13	6	0	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	21	14	6	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	16	4	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	22	14	5	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	17	18	6	0	0	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	15	6	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	16	20	4	1	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	6	9	14	11	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問Ⅰに関しては、(1)で「そう思わない」という回答が1件あるが、これは学生の理解度や進捗状況によって当初の予定を一部変更したことが理由であると考えられる。シラバス(内容そのものではなく、主に順序)の変更についてはその都度学生に説明してきたので、おおむね理解は得られたのではないかと考えている。

また設問Ⅱの(1)と(2)については肯定的な回答がほとんどだが、(3)については「全くしていない」が11名となっており、改善の余地がある。

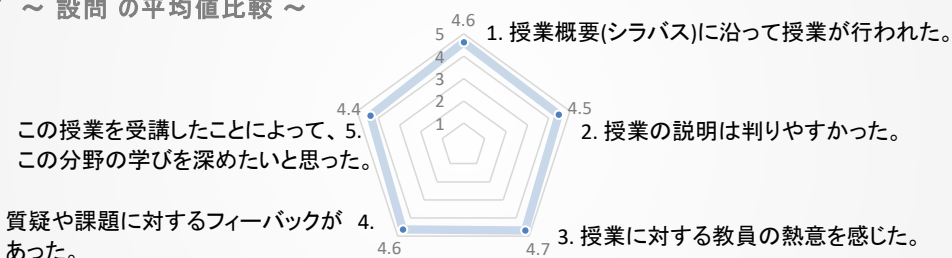
②課題と展望(授業改善方策)

設問Ⅰの(1)については、着任1年目だったこともあり学生の状況(これまでの学修状況や学力など)が事前に把握できず、授業を進めながら調整していった部分がある。そのため来年度は、今年度の経験を踏まえて授業内容や時間配分について調整していきたい。

また設問Ⅱの(3)については、授業内のグループワークだけでなく予習の段階で成果物の作成・提出を求めたり、個々の課題の評価(得点)を数値的に示すなど、よりわかりやすい指標を用意し、学生の意欲を引き出すとともに授業時間外学習の時間の確保に努めた。

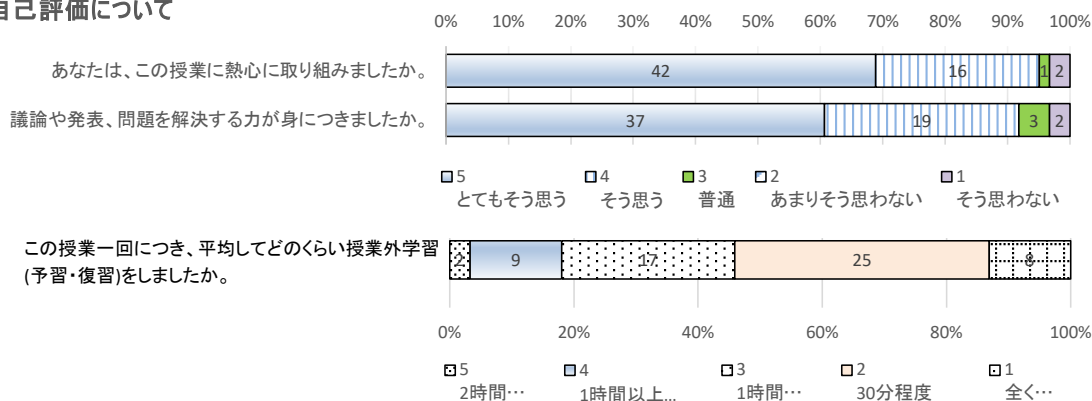
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	47	9	3	0	2	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	39	16	4	0	2	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	50	7	2	0	2	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	47	9	3	0	2	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	34	20	5	0	2	4.4
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	42	16	1	0	2	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	37	19	3	0	2	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	9	17	25	8	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

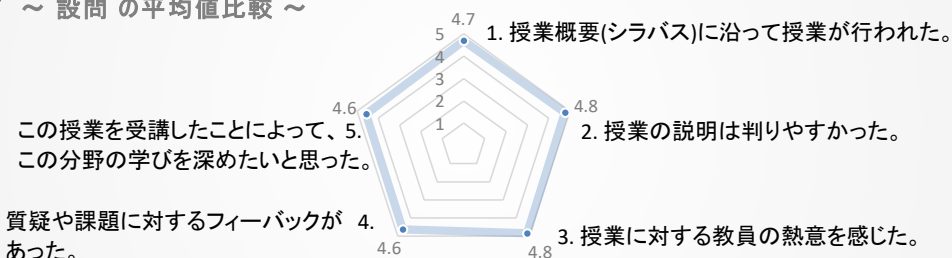
設問Ⅰにおける5つの質問項目における総平均は4.6ポイント(最高5ポイント)であった。概ね良好な結果だと考えられる。一方、令和5年度のアンケート結果からの改善として、授業内に提出するのではなく提出締め切りを授業当日の23:59とした振り返り課題、個人やグループによる発表の為の提出物(計画案や指導案)等、授業時間外に行う取り組みを充実させたにもかかわらず、設問Ⅱの質問項目(3)の平均は令和5年度と同じ2.5であった。

②課題と展望(授業改善方策)

「そう思わない」「全くしていない」を選択した学生について振り返り課題や提出物の提出情報を整理するとともに、それらの学生の特性に応じた改善策について検討することとする。

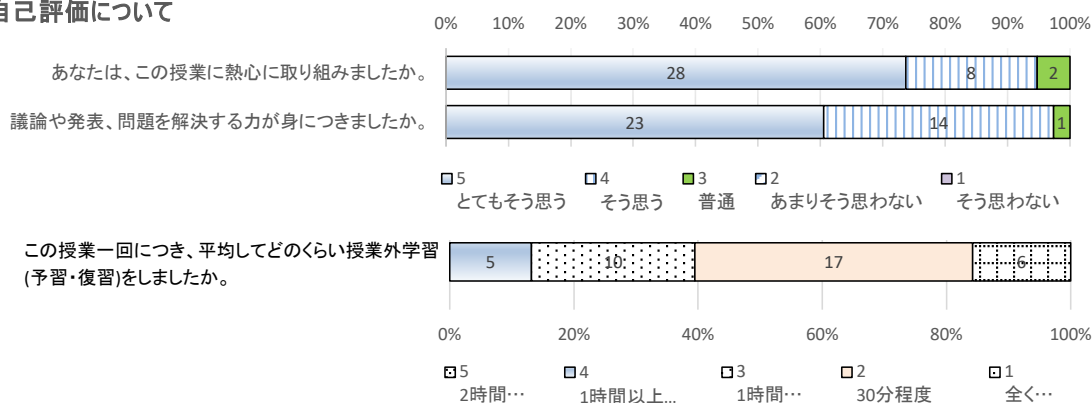
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	27	10	1	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	30	7	1	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	32	6	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	25	12	1	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	25	10	3	0	0	4.6
総平均							4.7

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	28	8	2	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	23	14	1	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	5	10	17	6	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

本科目は、①「自らの体験を通して身体表現活動の楽しさを味わい、身体表現技能を修得できる。」、②「保育活動の視点から、身体表現活動への展開方法について学び、保育現場で実用できる。」、③「幼児の感性・創造性を尊重し、共感できる態度を身につけ、幼児の表現を評価できる。」ことを授業の到達目標とした。アンケートの結果をみると、「授業に対する教員の熱意を感じた」および「授業の説明は分かりやすかった」という項目が4.8と最も高い評価を得た。また、その他の項目でも4.6以上であり、総平均は4.7を示したことから全授業を通じて学生から概ね高い評価を得たと認識している。

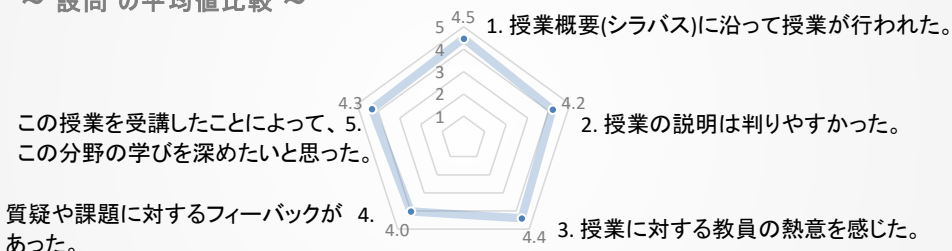
本授業では、身体表現に関する10種目の実技試験を行い、その結果を全て学生にフィードバックしている(実技記録カード)。学生は実技記録カードにより、自らのパフォーマンスを振り返り、次の実技試験へと備え、練習に励むことができる。1回1回の授業に対する取り組み、その積み重ねが最終的には総合評価となる。学生にとって、分かりやすい評価方法ではないかと推察している。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度はTEAMS、Youtubeを活用して課題動画を作成し、学生に対して提示した。授業後半に実施した、ダンスストレッチやリズムダンスの創作の実技テストにおいて、学生は繰り返し動画を見ながら練習していた。ある程度の学習効果がみられたと判断し、今後も継続していきたい。

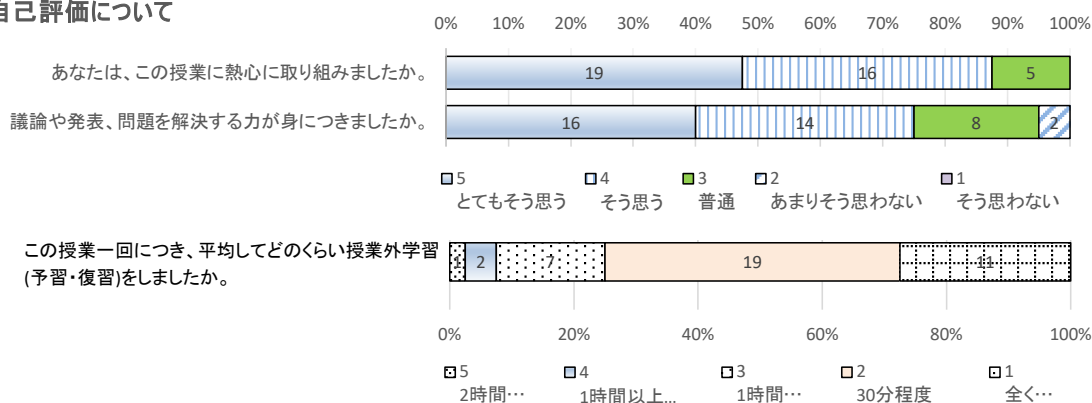
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	23	13	4	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	19	12	7	1	1	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	23	11	5	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	13	9	0	2	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	20	13	6	1	0	4.3
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	19	16	5	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	16	14	8	2	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	7	19	11	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

学生の毎回の受講する誠実な態度とアンケートに対する誠実な答えに感謝します。

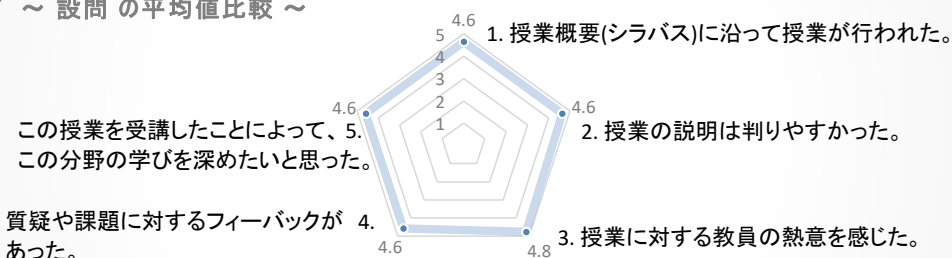
「人間関係」の保育内容はそのときの人間関係の状況、それぞれの幼児の思いが違います。授業ではできる限り、数多くのエピソード事例をもとに話をしますがなかなか子どもの気持ちは伝えられず、理解してもらえないかどうかいつも疑問に思っています。1年生の実習経験などから授業の内容につなげて考えてくれればと思っています。そのことは毎回の課題レポートに記載されたものから読み解くことができます。

②課題と展望(授業改善方策)

ほぼ毎回、課題レポートを提出してもらっていますが、それによってそれぞれの学生の授業の理解度や授業に向かう姿勢などがよくわかるのでこれからも課題レポートは続けたいと思います。改善方策としては、授業の時間が少なくてやり残してしまうのですがもっと課題に対してのグループ討議を行い互いに刺激し合える授業にしていきたいと思っています。

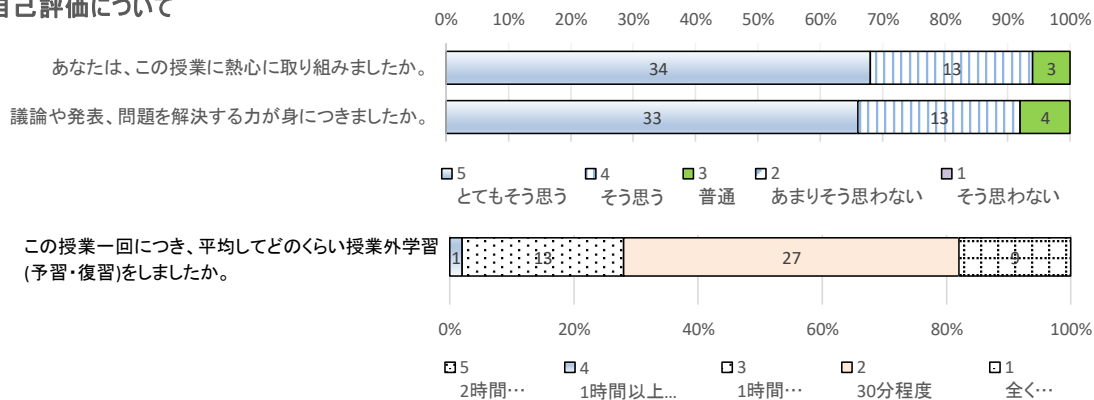
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	35	12	3	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	35	12	3	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	41	6	3	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	13	4	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	33	14	3	0	0	4.6
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	34	13	3	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	33	13	4	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	13	27	9	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

昨年度の授業の反省をもとに、事例を通して学ぶべきポイントを絞り込んですすめたため、学生も理解しやすかったのではないかと。ディスカッションに慣れてきて、積極的に発言する学生も増えていった印象である。

②課題と展望(授業改善方策)

自己評価シートに自分の意見を書き込む形は効果的であったが、授業外の学習時間が短いことが課題である。

特別支援教育に関する具体的なテーマを取り上げて、自主的な学びを深められるように、工夫していきたい。

定期テストに関しては、実践的な内容をふくめたが、基礎的な知識の部分で十分に定着していない学生もいた。

特別支援保育Ⅰとのつながりを意識し、知識習得と定着ができるように、復習的な側面にも力を入れたい。

科目コード: 1210

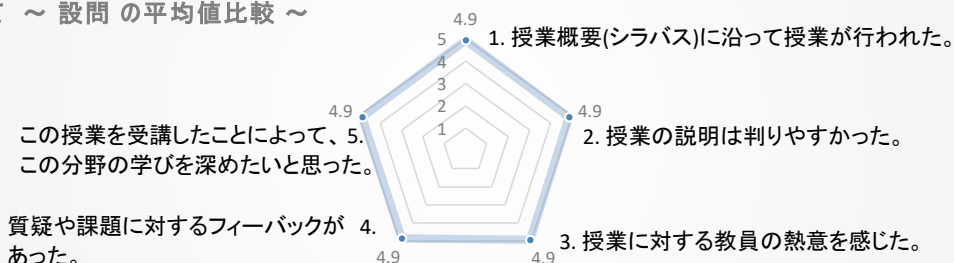
科目名 保育のピアノ応用 I

回答者数: 14 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 根岸恭子(他)

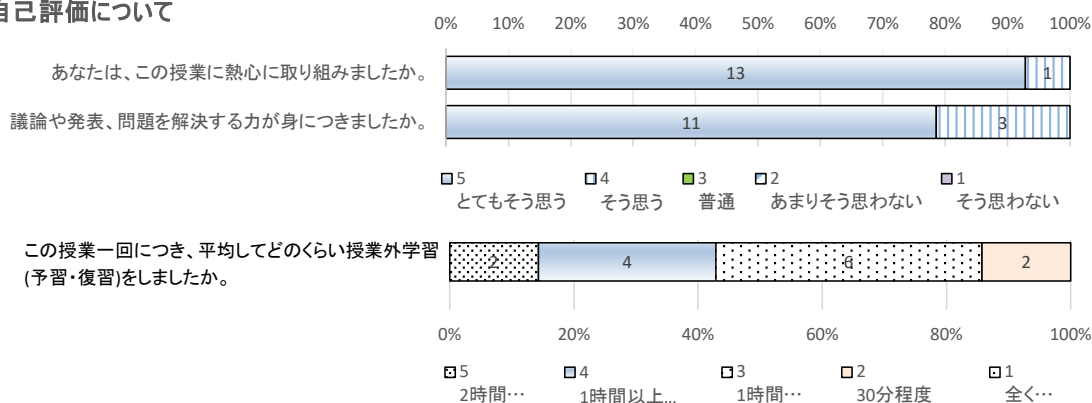
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	13	1	0	0	0	4.9
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	2	0	0	0	4.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	13	1	0	0	0	4.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	13	0	1	0	0	4.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	12	2	0	0	0	4.9
総平均							4.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	1	0	0	0	4.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	3	0	0	0	4.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	4	6	2	0	3.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

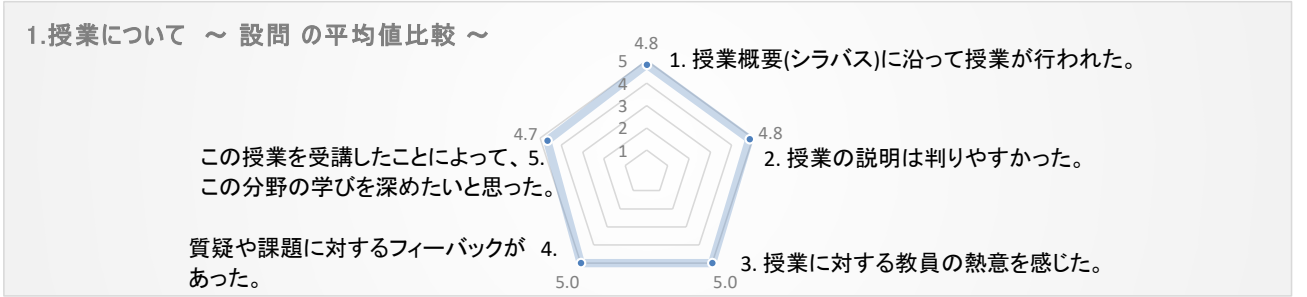
①現状(アンケート結果に対する考察)

現状 アンケート結果を見ると、ほとんどの学生がこの授業に満足していることが確認できた。やはり少人数ならではのきめの細かい指導によって、保育現場に対応した音楽指導が可能となり、基礎的な力が付いたことが、学生にも実感できたものと思われる。

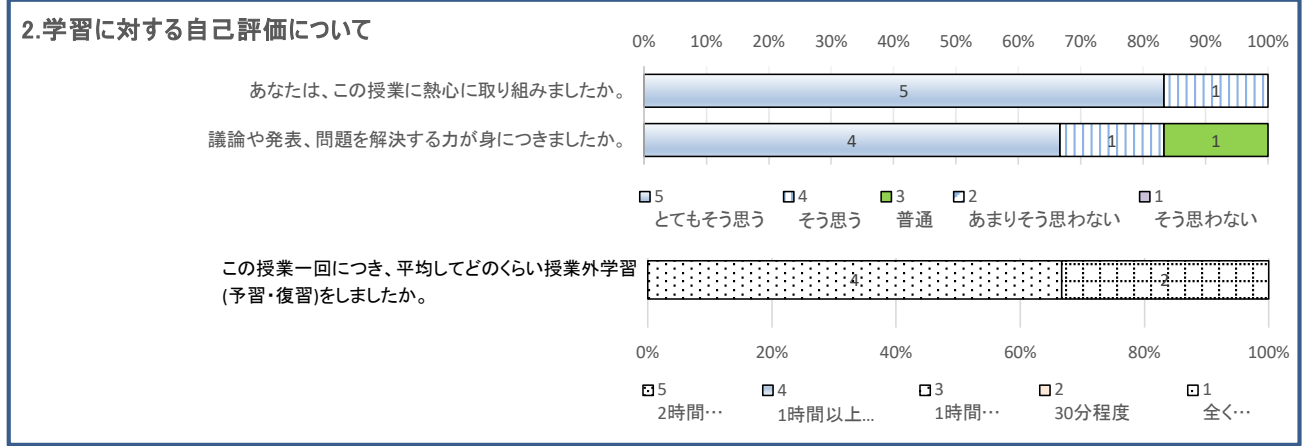
②課題と展望(授業改善方策)

アンケートでは特に問題はなかったが、近年、実習園から課される童謡の曲数が多く、その譜読みに苦勞している学生が見受けられる。読譜力を付けるための調号や音階などの理論的知識を付けるとともに、初見で伴奏を簡易化して対応できるような実践的な力を付ける事を目指した指導をしていきたい。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	1	0	0	0	4.8
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	0	0	0	0	5.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	0	0	0	0	5.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	2	0	0	0	4.7
総平均							4.9



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	1	0	0	0	4.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	1	1	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	4	0	2	2.3



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

少人数制のため、学生1人1人の製作過程に都度声掛けすることが出来たため、高い評価を得られたと感じている。今回のアンケートの自由記述の中に、「先生手作りのテキストで、将来役に立ちそうな1冊が出来上がり、嬉しかったです。作品の写真を貼って残すことで、かさばらず、見返す度にその時の思い出もよみがえりますね。実用的なHPや絵本を教えてくださいましたことも、とても有り難かったです。」という回答があり、引き続き自作テキストを要した授業展開を、「造形に対する苦手意識がどうしてもぬぐい去れない中、私の拙い作品を先生が褒めてくれたおかげで少し自信を持つことが出来ました。」といった回答もあり、造形が苦手だと感じている学生への声掛けや指導についても、引き続き強化して行っていきたい。「他の人の作品も見れて参考になりました」といった回答があったが、A組は履修者が数名いたためいろいろな作品を見ることが出来たが、B組は2名の履修者であったため、A組の作品をB組の授業で紹介する等配慮した。今後も、クラス毎に履修者のバラつきがあっても、差のない授業を行っていきたい。今回の授業は委託訓練生3名も履修していたため、非常に高い意識、作品レベルで授業を行えたと感じている。

②課題と展望(授業改善方策)

学生減も影響しているが、履修者が非常に少なく、A組7名、B組2名の履修者であった。この授業の中では、「他の学生の作品を見て、感性を養う」ことも重視しているため、履修者増を図る必要がある。学生への個別の声掛け等を行い、履修者増を目指していきたい。アンケートについては、履修者9名に対して、6名の回答であった。授業内でアンケートを実施し、当日欠席の学生にもチームズで回答をお願いしたが、全員が回答していなかったため、まずは全員が回答するよう努めていく。

科目コード: 1211

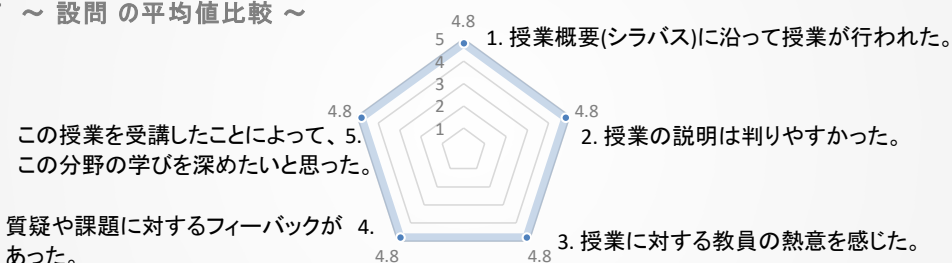
科目名 食育論

回答者数: 5 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 講義 担当者 大野智子

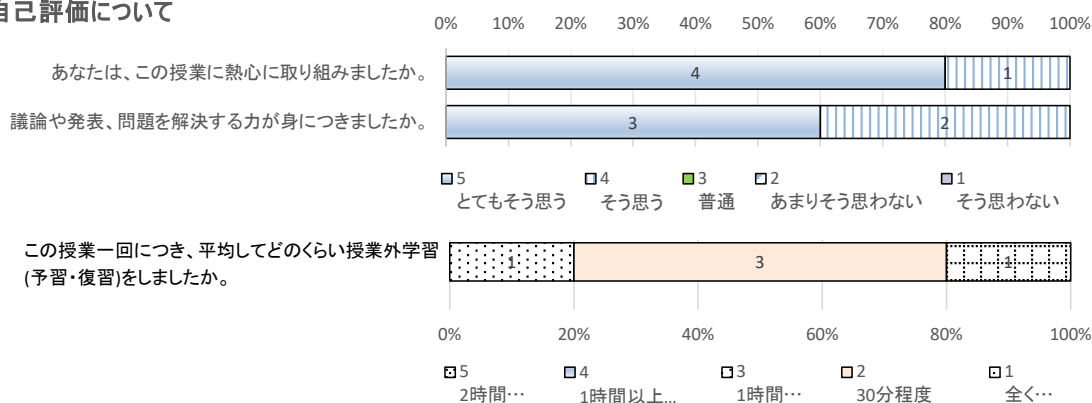
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	1	0	0	0	4.8
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	1	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	1	0	0	0	4.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	1	0	0	0	4.8
総平均							4.8

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	1	0	0	0	4.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	2	0	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	1	3	1	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察) 履修学生は7名であったが、体調不良等により回答しなかった学生が2名いた。アンケートへの協力を伝えてはいたが、しっかりと伝えればよかった。授業態度は良かったが、都合欠席する学生がいた。テーマに対する課題は取り組んでいたが、もう少し掘り下げた内容になるよう、より具体的にアナウンスすればよかったと反省している。

②課題と展望(授業改善方策) より具体的な内容を提示し、課題に取り組む時間がもう少し増えるようにしたい。